

美術科年間指導計画（1年）

時数	題材名	題材の目標・主な学習内容	主な材料・ 用具・資料	評価				指導上の留意点
				関	発	技	鑑	
1	美術との出会い (オリエンテーション)	○ 名画やラスコーなどの洞窟壁画の鑑賞を通して表現することの意味や人間の想像力のすばらしさを感じ取る。	美術資料	○			○	・作者の生き方や洞窟と壁画の意味についても触れ、図画工作からの発展性を感じ取らせる。
4	レタリング	○ 基本的な書体の特徴を知り、明朝体とゴシック体で文字を描く。 ・明朝体とゴシック体の描き方 ・様々な書体	レタリング 字典	○			○	・部分と全体のバランスや線の太さ、細部の形に注意させる。
8	絵文字	○自分の思いや伝えたい内容を、文字や形や色彩、構成などを工夫して表現する。 ・書体やレイアウトの構想と工夫 ・配色と彩色の工夫 ・ポスターカラーの使い方とデザインの彩色 ・三原色と白と黒を使った混色	画用紙 ポスターカラー	○	○	○		・漢字一文字の意味からイメージを広げて発想させ、構想を工夫させる。 ・イメージに合った配色と美しい彩色を考えさせる。
1	鑑賞「モナリザ」	○名画を鑑賞し、造形的なよさや美しさ、描かれている人物や情景に込められた作者の意図や工夫などを感じ取り味わう。 ・レオナルド・ダ・ヴィンチの作品と生き方	美術資料	○			○	・作者の生き方や業績にも触れ、歴史に残る名画について理解や見方を深めるようにする。 ・自分が感じたことを言葉でまとめたり、話し合うことで、より深く作品を味わうことができるようにする。
3	色彩の基礎知識	○ 色の三要素に基づく色の整理、分類の仕方を理解し、作品のイメージに合った配色を工夫する。 ・有彩色と無彩色、色の三要素、色の感情等 ・色相環の作り方と明度、彩度の変化のさせ方	色彩図表 ポスターカラー 色見本帳	○			○	・生活の中で色を意識して見ることで表現の世界が広がることに気づかせる。 ・1年生の段階である程度基礎的な内容を押さえておき、様々な題材で配色を考えて構想できる力を付ける。
7	私の靴	○ 身近な上靴を観察し特徴や美しさなどから主題を生み出し、構図や表現方法を工夫して絵で表現する。 ・形のとらえ方とバランス、陰影について	鉛筆 (2B~5B) 画用紙	○	○			・身近な物から感じ取った形や色彩の特徴や明暗の美しさに注目させ、構成や表現方法を工夫させる。

時数	題材名	題材の目標・主な学習内容	主な資料 材料・用具	評 価				指導上の留意点
				関	発	技	鑑	
1	鑑賞 「ゲルニカ」	○ 形や色彩，構図や描き方，制作過程から，作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り，自分の見方や感じ方で味わう。 ・パブロ・ピカソの作品と生き方	美術資料	○			○	・作品から時代背景や作者の心情等を読み解き，美術の持つ力について考えさせ，意見を交換させる。
1 2	本物そっくりに作ろう	身近な野菜や果物を観察し，形や色彩，質感などの特徴から主題を生み出し，素材の特性や用具を工夫して立体で表現する。 ・立体として様々な角度から観察，スケッチ ・粘土の可塑性を生かした造形の工夫 ・質感に合った混色と塗り方の工夫	野菜・果物 粘土 スタイロフォーム ポスターカラー	○	○	○		・表したい対象のイメージを大切に，粘土や絵の具などの特性を生かして，工夫して表現させる。
4	カラフルエッグ	○ 美しい配色とデザインの彩色を工夫する。	ワークシート 配色辞典 ポスターカラー	○	○	○		・ポスターカラーを使って，混色，彩色を工夫させる。むらなく丁寧な彩色を心掛けさせる。
1	絵手紙	○ 伝えたい気持ちや内容が伝わるように構成を考え，材料や描き方を工夫して絵手紙を描く。 ・メッセージを絵と言葉で伝える。	画用紙 絵の具 色鉛筆	○	○	○		・メッセージを楽しく伝える絵手紙の表現に関心を持ち，主体的に表現を工夫させる。
1	鑑賞「ガウディ」	○生活の中に美術が生きている生活を鑑賞し，生活と美術の関わりについて考える。 ・アントニオ・ガウディの「サグラダファミリア教会」について	映像資料	○			○	・映像を通して建築の形と成り立ちを理解させる。

美術科年間指導計画（2年）

時数	題材名	題材の目標・主な学習内容	主な資料 材料・用具	評価				指導上の留意点
				関	発	技	鑑	
2	モダンテクニック	○絵の具を使って自分のイメージしたことを表現することができる様々な表現技法を体験する。 ・デザインの表現技法 ○マーブリング スパッタリング ドリッピング	絵の具 バット 網・ブラシ ストロー	○			○	・遊び的な要素から発展して、作品として成立させることもできるように、美術に対して苦手意識を持っている生徒にも取り組みやすくする。
1 2	ポスター	○課題の解決や心豊かな生活のためにポスターの働きについて理解し、自分の見方や考え方で創造的にデザインする。 ○文字や図の配置や色彩の効果を工夫して、伝えたい内容を的確に伝える。 ・伝達のデザインの社会的役割 ・テーマとキャッチコピー ・テーマに合った表現を工夫してデザインする。 ・テーマに合った効果的な配色と彩色をする。	画用紙 資料 ポスターカラー	○	○		○	・様々なポスターを鑑賞させ、目的や機能との調和のとれた洗練された美しさ、作者の表現意図などを感じ取らせる。 ・問題を解決したり、未来を志向したりするためのデザインや表現の工夫に注目させる。
1	鑑賞「若冲の世界」	○若冲の絵画を鑑賞し、日本画の表現について理解する。	映像資料	○			○	映像を通して日本画の成り立ちと美しさを味わわせる。
1	鑑賞「宮城の伝統工芸」	○宮城の伝統工芸品の鑑賞を通して三技一体で制作された工芸品の用と美の世界に触れる。 ・仙台簞笥について	鑑賞資料	○			○	映像を通して、伝統工芸品の用と美の表現を理解させる。
1 2	木彫写真立て	○ 使う目的や機能と美しさの調和、作者の心づかい、生活の中のデザインの働きなどについて理解する。 ○ 木という素材や彫刻刀の特性を生かし、彫りの効果を工夫して制作する。 ・用と美の美しさ ・木という素材から発想して図案を考える ・彫刻刀の使い方を知り、安全に効果的に彫る。 ・塗装の目的と塗装の仕方 ・美しく丁寧に塗装して仕上げる。	木 彫刻刀 彫刻補助板 紙やすり ニス・刷毛	○	○		○	・彫ることで木という素材の美しさやあたたかみのある味わいを体験させる。 ・彫刻刀の使い分けを示し、彫りならではの美しさが出るように工夫して彫らせる。 ・彫刻刀の扱いについては、事故防止のために制作に入る前に基本的な取り扱いについてしっかり確認させる。

時数	題材名	題材の目標・主な学習内容	主な資料	評価	指導上の留意点
----	-----	--------------	------	----	---------

			材料・用具	関	発	技	鑑	
1	鑑賞「鳥獣戯画」	○「鳥獣戯画」の鑑賞を通して、イメージを広げ表現することの面白さを感じ取る。 ・「鳥獣戯画」について	映像資料 模型	○			○	・鳥獣戯画の補修について映像を鑑賞させ、墨と筆によるユーモラスな表現と美術文化を継承する技術について紹介する。
5	「鳥獣戯画を描こう」	○もとの絵から感じ取ったこと、墨のイメージなどから構図や角の生かし方を工夫して模写する。 ・水墨画の表現について	資料 墨・筆 和紙	○		○	○	・墨、和紙、筆などの特性を生かし、表現意図に合った描き方を工夫させる。
1	鑑賞「仏像と出会おう」	○仏像の表現の特徴や細部と全体から受ける印象などから、込められた願いや創造的な表現の工夫などを感じ取り、継承されて来た仏像に対する理解や見方を深める。 ・いろいろな仏像と祈りの形について	鑑賞資料	○			○	・小グループでの話し合いを通して、いろいろな仏像の造形的なやさや美しさを理解させ、美術文化への関心を高める。

美術科年間指導計画（3年）

時数	題材名	題材の目標・主な学習内容	主な資料 材料・用具	評価				指導上の留意点
				関	発	技	鑑	
1	鑑賞「日本の伝統色」	○日本の伝統色が自然と密接な結びつきがある事を理解する。 ・日本独特の色彩について	映像資料 鑑賞資料	○			○	・「紅花染め」の映像を通して様々な日本の色彩について紹介する。 ・次の題材の導入として活用する。
1 2	家紋を生かした平面構成	○家紋の形をもとに、日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。 ・家紋について ・家紋について調べる。 ・家紋の形をもとに、美しいデザインを工夫する。 ・バランスと配置を工夫してデザインをかく。 ・日本的な色で美しい配色を考え彩色する。	家紋の本 画用紙 コンパス 定規 ポスターカラー マスキングテープ	○	○	○	○	・自分の家の家紋について調べさせ、家紋についての理解と関心を深める。 ・日本の伝統的なデザインである家紋を使って日本的な美意識を生かし、色彩や図柄などの組み合わせを工夫させる。 ・四季の自然や生活の中からモチーフを見いだしていることや洗練された単純化、伝統色などの特徴に注意させる。
1	鑑賞「わだばゴッホになる」	○独創的な表現を生み出した板画の世界を味わう。 ・棟方志功の生き方と板画の世界	映像資料	○			○	映像を通して、棟方志功の生き方と板画が誕生した様子を紹介する。
1 5	篆刻	○伝統的な篆書体をもとに、石という素材の特性を生かし、工夫して印を制作する。 ・印の歴史と印面のデザイン ・陽刻と印刻 ・高麗石に印面を彫る。 ・きれいに押印する。 ・鈕（持ち手）の部分を工夫して彫刻する。 ・研磨と仕上げをする。	篆刻の本 高麗石 篆刻刀 棒ヤスリ 紙ヤスリ 耐水ペーパー トレーシングペーパー 朱肉	○	○	○	○	・高麗石など手に入りやすく削りやすい石を用意し、構想した形に近づくように削ったり磨いたりすることで立体作品が作れる事を経験させる。 ・材料、用具、石を使用した作例とその制作手順を示し、制作の際の資料として活用する。
6	卒業制作	○地域の石神窯窯元大場氏による指導 陶芸作品	粘土 粘土ベラ	○	○	○	○	・陶芸作品などを鑑賞させ、陶芸の技術を紹介する。 ・釉薬の種類や効果を理解する。 ・卒業の記念となる作品を企画、制作する
1	鑑賞と振り返り	・3年間の美術の授業で学んだことのまとめをする。	ワークシート	○			○	・生活の中で美術と関わる力を大切に。

